

文献研究用ツール SMART-GS の概要

林晋, 永井和 (京都大学文学研究科), 寺沢憲吾(公立はこだて未来大学)

歴史学者が必要に迫られて作ったツール

- SMART-GS は「ヒルベルト数学手帳」という独語手書史料の読解の困難さを軽減するために、歴史研究者の林が自家用として作った**人文学のプロのためのツール**
- 特定の史料向けに作ったが、有用性が実証され、現在は、史学・古典学用の汎用ツールを目指して開発している → **HCPプロジェクト**
- 次の3研究で日常的に使っている → 詳細はデモ 1, 2, 3 で**
 - ★数学史「ヒルベルト数学手帳研究」(林) **デモ1**
 - ★思想史「田辺元史料研究」(林) **デモ2**
 - ★政治史「倉富勇三郎日記研究」(永井) **デモ3**

SMART-GS の機能: 現在と近い将来

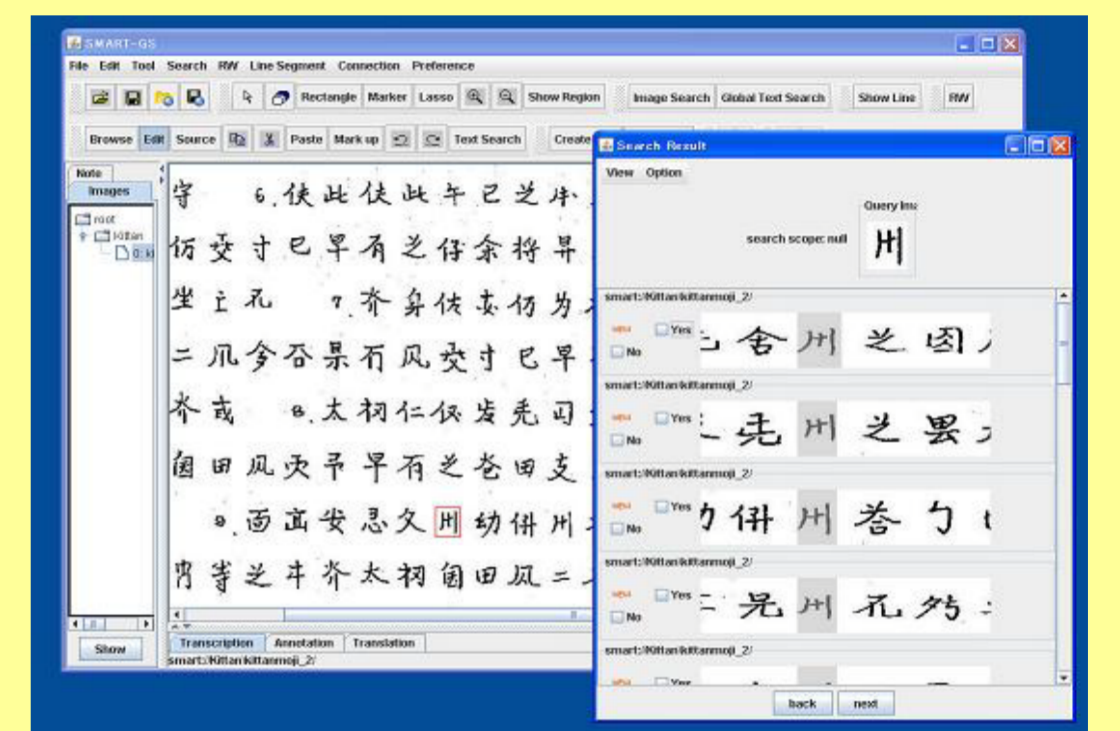
文書画像・電子テキストの垣根を越えるハイパーメディア

- 翻刻や文字認識なしで史料の画像を電子テキストの様に扱う
 - ★史料の画像をマークアップ, リンク, サーチ可能
 - ★文字認識を使わないので, 「行」さえあれば手書き文書, 未読言語の文書でも利用可能

出来つつあること, 近い将来にできること

- ネットワーク上で遠隔地の研究者による協働翻刻などを支援 **デモ3**
- 特定筆者・史料の手書きに対応する「サーチ可能崩し字辞典機能」 **デモ2**
- WEBアーカイブの文書画像にもマークアップ, リンク
- 著述支援: ファイルを自動的にWEBサイトや原稿(TeX)に変換 & 双方向管理

未読「契丹大字」の検索



Wong Wang-chi「契丹大字六十年之研究」『中国文化研究所学報』新第7期, pp.313-338より

SMART-GSの開発母体 HCP Project の思想

HCP: Humanities CyberPlatform

- 人文学用ITプラットフォームを作るプロジェクト
 - ★ロボット(素人用)でなく, モビルスーツ(プロ用)を作る
- 「技術の新規性・独創性」を価値観としない
 - ★HCP価値観: 新技術でも古技術でも人文学に役立つ技術が良い技術
- HCPに協力してくれる情報学者にはこの価値観を押し付けない
- 世界の歴史家, 古典学者, 学生, 愛好家のためのプロジェクト. 現在のライセンス方式は GPL2

画像化主義宣言

人文学のための史料電子化の基盤は
解釈を経る電子テキスト化ではなく
解釈を経ない電子画像化であるべきだ

SMART-GS/HCP の2つの技術要素

文書画像検索エンジン → デモ4

- SMART-GS は寺沢の検索エンジンを使用している
- SMART-GS とは完全に分離されており, 他の検索エンジンをSMART-GSで使用したり, 寺沢検索エンジンを他のアプリで使用することが可能

アノテーション・知識表現を行う Reasoning Web (RW)

- Reasoning Web: XMLベースの知識表現枠. gs-fileに格納される
- gs-file で複数ユーザの知識の共有, 相互批判が可能となる
- デモ3** 倉富研究で使用
- デモ3の方法を発展させ**
ネット上協働翻刻・共同研究へ
たとえば京大文学部が所蔵する西田幾多郎の原稿画像を囲んで世界の研究者がリアルタイムに共同研究する



何年か先にはこんなことが...

